

富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
平成25年度第3回中小企業支援専門部会（要旨）

日時 平成26年3月26日（水）13:30～15:00
場所 パレブラン高志会館薫風
議事 (1) 平成26年度中小企業の振興と人材の育成等に関する施策の概要について
(2) その他

委員からの主な意見

【人材育成について】

- ・ 企業内に若年層を指導する40～50代の中間層がないため、研修機会があっても、受講させる人的余裕が生まれず。補助金以外の何らかの対策が必要である。
- ・ 社内に65歳位やバブル期の45歳位の人はいるが、ノウハウの伝承ができていない。65歳を超えても留まっていたかなければならないケースがでてくる。40歳以下を育てる支援をいただきたい。
- ・ 商人塾（とやまの次世代商人発掘塾事業）は少しずつ効果が出ている。商業者が参加しやすい場所、時間帯で開講してほしい。

【国・県の助成制度について】

- ・ ものづくり補助金については、申請書の作成を大変と感じる企業もある。申請書類の簡素化ができないか。
- ・ ものづくり補助金の申請が難しいので申請をやめたという話を聞いた。申請の手伝いも含めての支援をお願いしたい。
- ・ 各種支援制度の申請手続きの簡素化を国に働きかけていただきたい。
- ・ 国や県にどんな支援・助成制度があるのかという相談が良くあるが、区分が分かりにくいのでなんとかならないか。
- ・ 経営者の方々から、企業立地助成制度の交付要件（新規雇用人数）を考え直してもらえないかという話を良く聞く。
- ・ たくさんの中小企業施策があるが、これを周知する努力が必要。周知についても、県の尽力をお願いしたい。
- ・ いろいろな施策が県に用意されていても、自分にとって県は「遠い」という印象がある。市町村なら行きやすいので、市町村も周知に協力してほしい。

【商店街等の振興について】

- ・ 商店街で創業しやすい仕組みを考えていただければありがたい。
- ・ 共同店舗の中の空き店舗のマッチングにも力を入れていただきたい。

【産学官連携について】

- ・ 国際競争に打ち勝つものづくりのために、産学官の連携が重要である。

【定住人口の増加について】

- ・ 北陸新幹線の開業により、父は都会で仕事、妻子は富山で教育を受けるために定住という形で定住人口を増加させることができるのではないか。

【国・県の施策への協力について】

- ・ 企業向け助成制度の情報が企業にまで十分届いていないのではないかと思います、県の支援も得て、ものづくり補助金について会員企業に情報提供させていただいた。引き続き情報提供をお願いしたい。
- ・ 国や県や市町村にいろんな支援制度があってもご存じない方もいるので、情報提供に協力していきたい。
- ・ とやま起業未来塾の修了生で、当行に創業資金を申込みに来られる方が何人もおられる。川下で県の施策のお手伝いをしていきたい。
- ・ 北陸新幹線開業に向けて首都圏で県が関わる商談会が行われるが、首都圏の支店でも周知に協力するのでご連絡いただきたい。
- ・ 新幹線を会社の業績を上げるチャンスとするために産業界が知恵を出さなければならぬ。県の施策に協力していきたい。